2025年３月期 決算短信〔ＩＦＲＳ〕（連結）

2025年５月２日

上場会社名	エムスリー株式会社		上場取引所　東
コード番号	2413		ＵＲＬ　https://corporate.m3.com/
代表者　（役職名）	代表取締役	（氏名）谷村　格	
問合せ先責任者　（役職名）	執行役員	（氏名）大場　啓史	（ＴＥＬ）　03-6229-8900
定時株主総会開催予定日	2025年６月26日		配当支払開始予定日　2025年６月９日
有価証券報告書提出予定日	2025年６月27日		

決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

１．2025年３月期の連結業績（2024年４月１日～2025年３月31日）

（1）連結経営成績　（%表示は対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		当期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年３月期	284,900	19.3	62,971	△2.2	64,785	△5.9	44,340	△8.7	40,484	△10.6	41,685	△34.9
2024年３月期	238,883	3.5	64,381	△10.6	68,840	△7.4	48,549	△6.6	45,271	△7.7	64,058	1.9

	基本的１株当たり当期利益	希薄化後１株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分当期利益率	資産合計税引前利益率	売上収益営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年３月期	59.62	59.60	11.1	12.1	22.1
2024年３月期	66.68	66.63	13.8	15.4	27.0

（参考）持分法による投資損益　2025年３月期　2,672百万円　2024年３月期　1,357百万円

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率	１株当たり親会社所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2025年３月期	581,741	412,799	378,436	65.1	555.07
2024年３月期	490,780	366,701	351,915	71.7	516.49

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年３月期	51,743	△39,149	△27,165	134,933
2024年３月期	58,310	△39,456	9,432	149,661

２．配当の状況

	年間配当金					配当金総額（合計）	配当性向（連結）	親会社所有者帰属持分配当率（連結）
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年３月期	－	0.00	－	21.00	21.00	14,259	31.5	4.4
2025年３月期	－	0.00	－	21.00	21.00	14,260	35.2	3.9
2026年３月期（予想）	－	0.00	－	－	－		－	

（注）現時点において、2026年３月期の配当予想額は未定です。今後の資金需要動向とキャッシュ・フローの状況とを勘案し、株主配当の水準を決定する予定です。

３．2026年３月期の連結業績予想（2025年４月１日～2026年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的１株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	172,000	37.8	31,000	7.0	31,000	6.6	21,000	7.2	18,500	7.0	27.24
通期	360,000	26.4	70,000	11.2	70,000	8.1	50,000	12.8	45,000	11.2	66.27

※　注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有
　　新規　１社　（社名）株式会社エラン

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
　① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
　② ①以外の会計方針の変更　　：無
　③ 会計上の見積りの変更　　：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年３月期	679,077,900株	2024年３月期	679,063,600株
② 期末自己株式数	2025年３月期	45,271株	2024年３月期	45,151株
③ 期中平均株式数	2025年３月期	679,026,748株	2024年３月期	678,962,371株

※　決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
（将来に関する記述等についてのご注意）
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する事項は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料）
決算補足説明資料は、2025年５月２日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… **1**
(1) 当期の経営成績の概況 …… 1
(2) 当期の財政状態の概況 …… 3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 …… 3
(4) 今後の見通し …… 4
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 …… **4**
３．連結財務諸表及び主な注記 …… **5**
(1) 連結財政状態計算書 …… 5
(2) 連結損益計算書 …… 7
(3) 連結包括利益計算書 …… 8
(4) 連結持分変動計算書 …… 9
(5) 連結キャッシュ・フロー計算書 …… 10
(6) 継続企業の前提に関する注記 …… 11
(7) 連結財務諸表注記 …… 11
１　表示方法の変更 …… 11
２　セグメント情報 …… 11
３　１株当たり利益 …… 13
４　重要な後発事象 …… 14

１．経営成績等の概況

（報告セグメントの変更について）

2024年10月に株式会社エランを子会社化したことに伴い、当連結会計年度より当該事業のセグメントとして「ペイシェントソリューション」を新設しています。

なお、企業結合に伴うセグメントの新設のため、前連結会計年度のセグメント情報について遡及修正は実施しておりません。

(1) 当期の経営成績の概況

国内においては、医師会員34万人以上が利用する医療従事者専門サイト「m3.com」を中心に様々なサービスの展開をしています。

メディカルプラットフォームでは、「m3.com」のプラットフォーム上で会員医師が主体的、継続的に高頻度で情報を受け取れる「MR君」ファミリーの各種サービスに加え、会員医療従事者を対象とした調査サービス、会員へ医療情報以外のライフサポート情報を提供する「QOL君」等の一般企業向けマーケティング支援サービス等、顧客の意図や用途により選べるサービスメニューを提供しています。また、次世代MR「メディカルマーケター」の提供や、医療系広告代理店等事業、ならびに医療機関向けの電子カルテの提供等を、グループ各社を通じて展開しています。

エビデンスソリューションでは、臨床開発業務の支援及び大規模臨床研究の支援を行うCRO、治験実施医療機関において治験業務全般の管理・運営を支援するSMO、臨床開発・臨床研究等の実施に必要な被検者の募集並びに周辺業務の支援を行うPRO等の事業を、グループ各社を通じて展開しています。

キャリアソリューションでは、エムスリーキャリア株式会社において、医師、薬剤師向けの求人求職支援サービスの展開を進めています。

サイトソリューションでは、医療機関の運営をサポートする各種サービスを展開しています。

ペイシェントソリューションでは、入院患者や介護施設の利用者等を対象とした患者サポート事業を行っています。

さらに、一般の方々からの健康や疾病に関する質問に「m3.com」登録医師が回答する「AskDoctors」（https://www.AskDoctors.jp/）や医療福祉系国家試験の対策等の事業を行うエムスリーエデュケーション株式会社等を通じてさまざまなサービス展開を進めています。

海外においては、米国で、医療従事者向けウェブサイト「MDLinx」を運営し、この会員基盤を活かした製薬企業向けサービスの他、医師向けの転職支援サービスや治験支援サービスも展開しています。欧州では、英国で医師向けウェブサイト「Doctors.net.uk」において製薬企業向けサービスの展開を進める他、Vidal Groupを通じてフランス、ドイツ、スペインで医薬品情報データベースの提供を行うとともに、eDoctores Soluciones, S.L.を通じて医療従事者向け診療現場モバイルアプリiDoctusをスペイン及び中南米で提供しています。アジア地域においても順調に事業を拡大しています。

また、日本、米国、欧州、中国、韓国をはじめ、当社グループが世界中で運営する医療従事者向けウェブサイト及び医師パネルに登録する医師は合計で約650万人となっており、医師パネルを活用したグローバルな調査サービスの提供も行っています。

当連結会計年度の業績は、以下の通りです。

（当期の業績）　（単位：百万円）

	2024年３月期 （自　2023年４月１日 至　2024年３月31日）	2025年３月期 （自　2024年４月１日 至　2025年３月31日）	比較増減	
売上収益	238,883	284,900	＋46,017	＋19.3%
営業利益	64,381	62,971	△1,410	△2.2%
税引前当期利益	68,840	64,785	△4,055	△5.9%
当期利益	48,549	44,340	△4,209	△8.7%

（セグメントの業績）　（単位：百万円）

		2024年３月期 （自　2023年４月１日 至　2024年３月31日）	2025年３月期 （自　2024年４月１日 至　2025年３月31日）	比較増減	
メディカル プラットフォーム	セグメント売上収益	93,414	91,566	△1,848	△2.0%
	セグメント利益	38,626	34,105	△4,521	△11.7%
エビデンス ソリューション	セグメント売上収益	26,700	24,244	△2,457	△9.2%
	セグメント利益	6,698	4,345	△2,353	△35.1%
キャリア ソリューション	セグメント売上収益	16,642	20,914	＋4,272	＋25.7%
	セグメント利益	4,781	5,656	＋875	＋18.3%
サイト ソリューション	セグメント売上収益	33,025	47,043	＋14,017	＋42.4%
	セグメント利益	3,735	5,422	＋1,688	＋45.2%
ペイシェント ソリューション	セグメント売上収益	－	21,919	＋21,919	－
	セグメント利益	－	824	＋824	－
海外	セグメント売上収益	69,868	80,570	＋10,702	＋15.3%
	セグメント利益	11,695	14,745	＋3,050	＋26.1%
その他エマージング事業群	セグメント売上収益	2,633	2,453	△180	△6.8%
	セグメント利益	△290	1,003	＋1,293	－
調整額	セグメント売上収益	△3,399	△3,809	－	－
	セグメント利益	△863	△3,130	－	－
合計	売上収益	238,883	284,900	＋46,017	＋19.3%
	営業利益	64,381	62,971	△1,410	△2.2%

① メディカルプラットフォーム

医療現場のDX化支援等の事業が堅調に推移した一方で、製薬企業の継続的な予算圧縮及び新型コロナウイルス関連プロジェクトの減少影響により利益率の高い製薬マーケティング支援関連の売上が前期比で減少したため、セグメント売上収益は91,566百万円（前期比2.0%減）、セグメント利益は34,105百万円（前期比11.7%減）となりました。

② エビデンスソリューション

新型コロナウイルスに関連した治験プロジェクト等の貢献が前期比で減少したことに加え、上期を中心に全体的な受注動向がやや低調に推移したことにより、セグメント売上収益は24,244百万円（前期比9.2%減）、セグメント利益は4,345百万円（前期比35.1%減）となりました。

③ キャリアソリューション

医師向け及び薬剤師向けの求人求職支援サービスがいずれも好調に推移したことを主因に、セグメント売上収益は20,914百万円（前期比25.7%増）、セグメント利益は5,656百万円（前期比18.3%増）となりました。

④ サイトソリューション

医療機関事業では、M&A支援報酬の増加等が貢献しました。また、ホスピス事業における既存施設の稼働率上昇や新規開設に加え、米国足病事業や株式会社ノアコンツェル等の買収による業績寄与、居宅訪問看護事業における利用者数と利用者当たりケア時間の増加等により、セグメント売上収益は47,043百万円（前期比42.4%増）、セグメント利益は5,422百万円（前期比45.2%増）となりました。

⑤ ペイシェントソリューション

2024年10月に完了した当社による株式会社エランの公開買付及び子会社化に伴い、当連結会計年度からセグメントとして新設した結果、セグメント売上収益は21,919百万円、セグメント利益は824百万円となりました。

なお、本セグメントには、公開買付に関連する費用も含まれております。

⑥　海外

主に欧州・その他地域の堅調な実績や前年度に買収した事業の新規連結効果により、セグメント売上収益は80,570百万円（前期比15.3%増）となりました。セグメント利益は、北米治験事業の売上減少が前年度から継続したこと、及び2023年に英国で発生した医療従事者による全国規模のストライキ長期化等の事業環境悪化を主因に、同国の医師向けキャリア事業において減損損失を計上したこと等の影響を受けたものの、前年度に計上した北米治験事業における減損損失の剥落により、14,745百万円（前期比26.1%増）となりました。

⑦　その他エマージング事業群

セグメント売上収益は2,453百万円（前期比6.8%減）となりました。また、持分法による投資損益の増減により、セグメント利益は1,003百万円（前期は290百万円の損失）となりました。

以上の結果、当連結会計年度における当社グループの売上収益は284,900百万円（前期比19.3%増）、営業利益は62,971百万円（前期比2.2%減）、税引前当期利益は64,785百万円（前期比5.9%減）、当期利益は44,340百万円（前期比8.7%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産合計は、前連結会計年度末比90,961百万円増の581,741百万円となりました。流動資産については、現金及び現金同等物が14,729百万円減少した一方、営業債権及びその他の債権が13,119百万円増加したこと等により、前連結会計年度末比2,686百万円増の243,425百万円となりました。非流動資産については、新規連結子会社の取得等によりのれんが16,124百万円、無形資産が43,311百万円増加したこと等により、前連結会計年度末比88,276百万円増の338,316百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末比44,864百万円増の168,942百万円となりました。流動負債については、営業債務及びその他の債務が11,064百万円増加したこと等により、前連結会計年度末比14,945百万円増の82,114百万円となりました。非流動負債については、繰延税金負債が14,790百万円、その他の金融負債が9,876百万円増加したこと等により、前連結会計年度末比29,919百万円増の86,829百万円となりました。

資本合計は、前連結会計年度末比46,098百万円増の412,799百万円となりました。剰余金の配当14,259百万円を行った一方、親会社の所有者に帰属する当期利益40,484百万円を計上したこと等により、利益剰余金が26,278百万円増加したこと、新規連結子会社の取得等により非支配持分が19,577百万円増加したこと等によります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末残高より14,729百万円減少し、134,933百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、51,743百万円の収入（前期は58,310百万円の収入）となりました。収入の主な内訳は、税引前当期利益64,785百万円、支出の主な内訳は、法人所得税の支払額20,767百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、39,149百万円の支出（前期は39,456百万円の支出）となりました。主に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出38,934百万円が発生しています。

財務活動によるキャッシュ・フローは、27,165百万円の支出（前期は9,432百万円の収入）となりました。主に親会社の株主への配当金の支払額14,257百万円、借入金の返済による支出13,393百万円が発生しています。

(4) 今後の見通し

当社グループの2026年３月期の売上収益及び営業利益については、増収増益となることを見込んでいます。

① メディカルプラットフォーム

製薬マーケティング支援において、新型コロナウイルスに関連した売上の剥落影響が僅少となる一方で製薬企業の本質的なDX化需要は引き続き拡大が見込まれることに加え、医療現場のDX化支援事業などの成長継続により、増収増益となる見通しです。

② エビデンスソリューション

新型コロナウイルスに関連した売上の剥落影響が軽微となることに加え、営業体制改善の取組みを引き続き強化・推進することから、増収増益となる見通しです。

③ キャリアソリューション

医師及び薬剤師向けの求人求職支援サービス事業のいずれも堅調な成長が見込まれることから、増収増益となる見通しです。

④ サイトソリューション

医療機関事業で一部の支援先医療機関に対する収益性悪化や、居宅訪問看護事業で先行投資拡大等による一時的な影響が想定される一方で、医療機関支援事業における新規の支援先医療機関からの業務受託開始や海外事業拡大、ならびにホスピスや居宅訪問看護等の各事業においても堅調な成長が見込まれることから、利益は横ばいとなる見通しです。

⑤ ペイシェントソリューション

子会社化による業績貢献が通期化することに加え、グループシナジー創出の取組みとしてサービス開発・相互営業を積極的に展開し、その効果が一定発現する想定であることをふまえ、増収増益となる見通しです。

⑥ 海外事業

当連結会計年度に計上した減損損失の剥落影響に加え、各地域で堅調な成長が見込まれることから、増収増益となる見通しです。

これらを踏まえ、2026年３月期の業績見通しを、以下の通りといたします。

（2026年３月期業績見通し）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第２四半期（累計）	172,000	37.8	31,000	7.0	31,000	6.6	21,000	7.2	18,500	7.0
通期	360,000	26.4	70,000	11.2	70,000	8.1	50,000	12.8	45,000	11.2

※上記業績予想につきましては、本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況等の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、「インターネットを活用して、健康で楽しく長生きする人を１人でも増やし、不必要な医療コストを１円でも減らすこと」を事業目的とし、日本にとどまらず米国、欧州、中国等、グローバルに事業を展開しています。このような状況を踏まえ、財務情報の国際的な比較可能性の向上や開示の拡充により、国内外の株主・投資家などの様々なステークホルダーの皆さまの利便性を高めるため、2015年３月期より国際会計基準を適用しています。

３．連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年３月31日)	当連結会計年度 (2025年３月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	149,661	134,933
営業債権及びその他の債権	51,928	65,047
その他の金融資産	30,167	31,820
その他の流動資産	8,983	11,626
流動資産合計	240,739	243,425
非流動資産		
有形固定資産	26,446	48,609
のれん	95,511	111,635
無形資産	51,573	94,884
持分法で会計処理されている投資	49,073	49,945
公正価値で測定する金融資産	13,067	15,120
その他の金融資産	2,598	3,442
繰延税金資産	5,521	7,774
その他の非流動資産	6,253	6,907
非流動資産合計	250,041	338,316
資産合計	490,780	581,741

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2024年３月31日）	当連結会計年度 （2025年３月31日）
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	38,877	49,941
借入金	2,031	3,078
未払法人所得税	8,491	9,017
ポイント引当金	2,210	2,220
その他の金融負債	3,433	5,073
その他の流動負債	12,127	12,786
流動負債合計	67,169	82,114
非流動負債		
借入金	16,483	21,342
その他の金融負債	14,742	24,618
繰延税金負債	20,328	35,118
その他の非流動負債	5,358	5,751
非流動負債合計	56,910	86,829
負債合計	124,079	168,942
資本		
資本金	29,317	29,351
資本剰余金	26,616	28,753
自己株式	△37	△37
その他の資本の構成要素	32,449	30,521
利益剰余金	263,570	289,848
親会社の所有者に帰属する持分合計	351,915	378,436
非支配持分	14,786	34,363
資本合計	366,701	412,799
負債及び資本合計	490,780	581,741

(2) 連結損益計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自　2023年４月１日 至　2024年３月31日）	当連結会計年度 （自　2024年４月１日 至　2025年３月31日）
売上収益	238,883	284,900
売上原価	△98,352	△130,536
売上総利益	140,531	154,364
販売費及び一般管理費	△75,003	△92,946
持分法による投資損益（△は損失）	1,357	2,672
その他の収益	4,096	1,395
その他の費用	△6,600	△2,514
営業利益	64,381	62,971
金融収益	4,850	2,531
金融費用	△391	△717
税引前当期利益	68,840	64,785
法人所得税費用	△20,291	△20,444
当期利益	48,549	44,340
当期利益の帰属		
親会社の所有者	45,271	40,484
非支配持分	3,278	3,856
合計	48,549	44,340

（単位：円）

１株当たり当期利益		
基本的１株当たり当期利益	66.68	59.62
希薄化後１株当たり当期利益	66.63	59.60

(3) 連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自　2023年４月１日 至　2024年３月31日）	当連結会計年度 （自　2024年４月１日 至　2025年３月31日）
当期利益	48,549	44,340
その他の包括利益（税引後）		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度に係る再測定	△7	12
公正価値で測定する金融資産の公正価値の純変動	198	△60
純損益に振り替えられることのない項目合計	191	△48
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	11,749	△2,286
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	3,569	△322
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	15,318	△2,608
その他の包括利益（税引後）合計	15,509	△2,656
当期包括利益合計	64,058	41,685
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	60,490	38,295
非支配持分	3,567	3,389
合計	64,058	41,685

(4) 連結持分変動計算書

前連結会計年度（自　2023年４月１日　至　2024年３月31日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	利益剰余金	合計		
2023年４月１日現在	29,192	25,081	△37	17,180	231,214	302,630	6,888	309,518
当期利益					45,271	45,271	3,278	48,549
その他の包括利益				15,220		15,220	289	15,509
当期包括利益合計	－	－	－	15,220	45,271	60,490	3,567	64,058
所有者との取引額								
剰余金の配当					△12,899	△12,899	△2,464	△15,364
支配継続子会社に対する持分変動		1,385		△138		1,247	6,198	7,445
非支配持分の取得						－	586	586
連結除外による減少（増加）						－	11	11
株式報酬取引による増加（減少）	125	150		172		447		447
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				15	△15	－		－
所有者との取引額合計	125	1,535	－	49	△12,914	△11,205	4,330	△6,875
2024年３月31日現在	29,317	26,616	△37	32,449	263,570	351,915	14,786	366,701

当連結会計年度（自　2024年４月１日　至　2025年３月31日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	利益剰余金	合計		
2024年４月１日現在	29,317	26,616	△37	32,449	263,570	351,915	14,786	366,701
当期利益					40,484	40,484	3,856	44,340
その他の包括利益				△2,188		△2,188	△467	△2,656
当期包括利益合計	－	－	－	△2,188	40,484	38,295	3,389	41,685
所有者との取引額								
剰余金の配当					△14,259	△14,259	△2,258	△16,517
自己株式の取得及び処分			△0			△0		△0
支配継続子会社に対する持分変動		2,032				2,032	176	2,208
非支配持分の取得						－	18,271	18,271
連結除外による減少（増加）						－	△2	△2
株式報酬取引による増加（減少）	33	106		314		453		453
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				△54	54	－		－
所有者との取引額合計	33	2,138	△0	260	△14,206	△11,775	16,187	4,413
2025年３月31日現在	29,351	28,753	△37	30,521	289,848	378,436	34,363	412,799

(5) 連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自　2023年４月１日 至　2024年３月31日）	当連結会計年度 （自　2024年４月１日 至　2025年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期利益	68,840	64,785
減価償却費及び償却費	8,878	12,205
減損損失（△は戻入）	6,382	2,077
金融収益	△4,850	△2,531
金融費用	391	717
持分法による投資損益（△は益）	△1,357	△2,672
関連会社株式売却益	△624	△425
公正価値で測定する金融資産の公正価値の変動額（△は増加）	△3,144	253
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	2,251	△2,524
営業債務及びその他の債務の増減額（△は減少）	2,437	△962
ポイント引当金の増減額（△は減少）	△20	11
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△667	△603
その他	200	△1,274
小計	78,716	69,056
配当金の受取額	1,178	1,641
利息の受取額	1,749	2,531
利息の支払額	△387	△717
法人所得税の支払額	△22,947	△20,767
営業活動によるキャッシュ・フロー	58,310	51,743
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△26,262	△19,801
定期預金の払戻による収入	22,737	16,538
公正価値で測定する金融資産の取得による支出	△2,432	△3,147
公正価値で測定する金融資産の売却による収入	475	1,097
償却原価で測定する金融資産の取得による支出	△588	△1,453
償却原価で測定する金融資産の売却又は償還による収入	5,000	2,073
有形固定資産の取得による支出	△5,412	△6,290
有形固定資産の売却による収入	16	13,235
投資不動産の取得による支出	△1,551	△247
無形資産の取得による支出	△2,169	△2,701
敷金・保証金の取得による支出	△342	△618
敷金・保証金の返還による収入	312	176
貸付による支出	△3	△10
貸付金の回収による収入	55	72
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△27,346	△38,934
持分法投資の取得による支出	△1,601	－
持分法投資の売却による収入	3,079	789
事業譲受による支出	△4,123	△38
その他	699	110
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39,456	△39,149
財務活動によるキャッシュ・フロー		
親会社の株主への配当金の支払額	△12,896	△14,257
非支配持分株主からの払込による収入	13,109	－
非支配持分株主への配当金の支払額	△2,464	△2,245
非支配持分株主からの子会社持分取得による支出	△2,965	－
借入による収入	19,920	7,500
借入金の返済による支出	△1,582	△13,393
株式の発行による収入	88	0
リース負債の返済による支出	△3,783	△4,876
その他	4	105
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,432	△27,165
現金及び現金同等物の為替変動による影響	3,056	△158
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	31,343	△14,729
現金及び現金同等物の期首残高	118,319	149,661
現金及び現金同等物の期末残高	149,661	134,933

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(7) 連結財務諸表注記

１　表示方法の変更

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前連結会計年度において、投資活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めていた「有形固定資産の売却による収入」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記しています。この表示方法の変更を反映するため、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、投資活動によるキャッシュ・フローの「その他」714百万円は、「有形固定資産の売却による収入」16百万円、「その他」699百万円として組替えています。

２　セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。当社グループでは「メディカルプラットフォーム」、「エビデンスソリューション」、「キャリアソリューション」、「サイトソリューション」、「ペイシェントソリューション」及び「海外」の６つを報告セグメントとしています。

「メディカルプラットフォーム」は、国内における、医療従事者専門サイト「m3.com」を核としたインターネットとリアルオペレーションを活用した各種マーケティング関連事業を行っています。

「エビデンスソリューション」は、臨床試験等（治験、大規模臨床研究等）の業務支援事業、治験実施医療機関における治験業務全般の管理、運営支援事業等を行っています。

「キャリアソリューション」は、国内における医療従事者を対象とした人材サービス事業を行っています。

「サイトソリューション」は、医療機関の運営サポート事業、足病及び静脈疾患クリニックの運営、訪問看護事業等を行っています。

「ペイシェントソリューション」は、入院患者や介護施設の利用者等を対象とした患者サポート事業を行っています。

「海外」は、米国、英国、中国、韓国、インド、フランス、ドイツ及びスペイン等での医療従事者専門サイトを活用した医療関連会社マーケティング支援、調査、治験支援、人材サービス等の各種サービスを提供しています。

なお、「ペイシェントソリューション」は、2024年10月に株式会社エランを子会社化したことに伴い、当連結会計年度より新設しました。

(2) 報告セグメントの売上収益、利益又は損失及びその他の項目

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及びその他の項目は以下の通りです。

なお、報告セグメント間の内部売上収益及び振替高は市場実勢価格に基づいています。

前連結会計年度（自　2023年４月１日　至　2024年３月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他エマージング事業群（※１）	調整額（※２）	連結財務諸表計上額
	メディカルプラットフォーム	エビデンスソリューション	キャリアソリューション	サイトソリューション	ペイシェントソリューション	海外	計			
売上収益										
外部顧客への売上収益	90,490	26,386	16,605	33,012	－	69,852	236,345	2,539	－	238,883
セグメント間の内部売上収益又は振替高	2,925	314	36	13	－	16	3,305	94	△3,399	－
計	93,414	26,700	16,642	33,025	－	69,868	239,649	2,633	△3,399	238,883
セグメント利益	38,626	6,698	4,781	3,735	－	11,695	65,534	△290	△863	64,381
金融収益・費用（純額）										4,459
税引前当期利益										68,840
その他の項目										
持分法による投資損益（△は損失）	255	－	－	－	－	1,569	1,825	△468	－	1,357
減価償却費及び償却費	2,747	559	194	1,806	－	3,408	8,714	163	－	8,878
減損損失（※３）	－	－	－	－	－	5,531	5,531	851	－	6,382

当連結会計年度（自　2024年４月１日　至　2025年３月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他エマージング事業群（※１）	調整額（※２）	連結財務諸表計上額
	メディカルプラットフォーム	エビデンスソリューション	キャリアソリューション	サイトソリューション	ペイシェントソリューション	海外	計			
売上収益										
外部顧客への売上収益	88,181	24,020	20,882	47,030	21,919	80,506	282,540	2,361	－	284,900
セグメント間の内部売上収益又は振替高	3,385	223	32	12	－	64	3,716	93	△3,809	－
計	91,566	24,244	20,914	47,043	21,919	80,570	286,256	2,453	△3,809	284,900
セグメント利益	34,105	4,345	5,656	5,422	824	14,745	65,098	1,003	△3,130	62,971
金融収益・費用（純額）										1,814
税引前当期利益										64,785
その他の項目										
持分法による投資損益（△は損失）	392	－	－	－	1	1,792	2,185	487	－	2,672
減価償却費及び償却費	2,982	531	390	3,286	1,033	3,980	12,202	2	－	12,205
減損損失（※４）	－	－	－	－	－	2,077	2,077	－	－	2,077

※１　「その他エマージング事業群」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンシューマ向けサービスの他、医療福祉系国家試験対策サービス等を含んでいます。

２　調整額の内容は、以下の通りです。

①　セグメント間取引の消去

②　各報告セグメントに帰属しない収益及び全社費用

３　将来の収益性を見直した結果、のれん及び有形固定資産について減損損失を計上しています。

４　将来の収益性を見直した結果、のれんについて減損損失を計上しています。

３　１株当たり利益

親会社の所有者に帰属する１株当たり当期利益の算定上の基礎は、以下の通りです。

	前連結会計年度（自　2023年４月１日　至　2024年３月31日）	当連結会計年度（自　2024年４月１日　至　2025年３月31日）
親会社の所有者に帰属する当期利益（百万円）	45,271	40,484
基本的期中平均普通株式数（株）	678,962,371	679,026,748
希薄化性潜在的普通株式の影響		
ストック・オプション	499,108	199,309
希薄化後の期中平均普通株式数	679,461,479	679,226,057
１株当たり当期利益（円）		
基本的１株当たり当期利益	66.68	59.62
希薄化後１株当たり当期利益	66.63	59.60
逆希薄化効果を有するため、希薄化後１株当たり当期利益の算定に含めなかった金融商品の概要	新株予約権７種類（新株予約権の数2,299個）	新株予約権15種類（新株予約権の数3,498個）

４　重要な後発事象

当社は、2025年５月２日開催の取締役会において、会社法第459条１項及び当社定款の規定に基づき自己株式取得に係る事項を決議しました。

(1) 自己株式の取得を行う理由

当社では、経営基盤を強化し新たな事業展開に備えることを目的に、利益を内部留保し、再投資することを資源配分の基本方針としつつ、資金需要動向とキャッシュ・フローの状況とを総合的に勘案し、株主還元の水準を決定しています。

今般、2025年３月期業績や2026年３月期業績見通し、現在の株価水準、および2023年に東京証券取引所より公表された「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」の要請等、当社の財務状況や経営環境を総合的に勘案し、資源配分を検討しました。結果、当期については、株主還元として、剰余金の配当に加え、自己株式の取得を実施することとしました。

(2) 自己株式取得に係る事項の内容

①取得対象株式の種類	普通株式
②取得し得る株式の総数	2,000万株（上限） （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 2.95%）
③株式の取得価額の総額	200億円（上限）
④取得期間	2025年５月３日から2026年４月30日
⑤取得方法	東京証券取引所における取引一任契約に基づく市場買付